

教科名【算数】

児童の実態

- ・ 計算をはじめとして、理解について個人差が大きい。
- ・ 既習内容の理解の差が大きく、新しい学習内容についてこられない事もある。
- ・ 問題の意味が正確に読み取れていないことがあるため、正しい解決方法に向かないことがある。
- ・ 答えは導くことができても、筋道を立てて考え、説明することに慣れていない。
- ・ 学習内容が理解出来ていても、苦手意識から自信がもてていない。それらが、発言の挙手の少なさや考えが書けない原因になっている。

授業革新推進に向けて

- ・ 問題練習の時間を設け、基礎・基本を徹底し、学習内容の定着を図る。また、単位など答え方の決まりに気を付けさせる。
- ・ 少人数指導を実施し、補充的な指導や発展的な指導を通し、習熟度に応じたきめ細やかな指導を行えるよう工夫する。
- ・ ノートを充実させることにより、課題を論理的に解決していく力や、自分の考えを文章で表す力を高める。
- ・ 自分の意見を、友達が説明できるように、考えをまとめて説明する力を高める。
- ・ ICTを積極的に使い、ドリルパークや家庭学習でPCを使ったり、習熟・理解するためにPCを使ったり、説明するときの一助になったり出来るように普段から使用に慣れさせる